

● ● ●

日本学術会議 公開シンポジウム

若手研究者をとりまく評価

調査結果報告と論点整理

世界的な競争、評価をめぐる問題、キャリアパスに関する課題など、若手研究者をめぐる研究・知識生産の環境は多くの課題を抱えています。安定的な活動基盤の獲得のために、時にチャレンジングな研究の回避、あるいは評価指標を過度に気にした活動などの弊害が指摘され、知識生産の可能性を損ねていくことが危惧されています。

日本学術会議若手アカデミーでは、「若手研究者をとりまく評価に関する意識調査」を実施し、全国の多くの若手研究者から回答を得ました。本シンポジウムでは意識調査の結果を報告するとともに、若手研究者をめぐる評価のあり方について幅広い視点から議論し、知識生産をめぐるより良いエコシステムの形成に向けた論点整理を行います。

プログラム

13:00-13:20

開会挨拶 岩崎 渉 東京大学・教授
趣旨説明 小野 悠 豊橋技術科学大学・准教授

13:20-13:50 報告

「若手研究者をとりまく評価に関する意識調査」結果報告
標葉 隆馬 大阪大学・准教授

13:50-15:20 パネルディスカッション

経営学からみる若手研究者評価
服部 泰宏 神戸大学・准教授

研究環境からみる若手研究者評価

江端 新吾 東京工業大学・教授、内閣府・上席科学技術政策フェロー

ライフプラン・キャリアパスからみる若手研究者評価

加藤 千尋 弘前大学・准教授

産官学人材流動からみる若手研究者評価

塚本 直樹 富士フイルム株式会社・技術マネージャー

国際からみる若手研究者評価

新福 洋子 広島大学・教授

コーディネーター：

岸村 顕広 九州大学・准教授

近藤 康久 総合地球環境学研究所・准教授

15:20

閉会挨拶 望月 眞弓 慶應義塾大学・名誉教授

オンライン開催

2022年10月6日(木)

13:00～15:30

こちらからご登録ください▼



主催：日本学術会議若手アカデミー、若手アカデミー地域活性化に向けた社会連携分科会

